

研究課題名	COVID-19 流行下における消化管癌患者の実態調査
研究の意義・目的	コロナ感染症の流行により様々な情報が氾濫し、行動が制限され多くの不安を抱えている癌患者様が多いと思われます。本研究は、コロナ感染症流行下での通院化学療法を行っている消化器癌の患者様の悩みやニーズと支援の認識の実態を把握することを目的としています
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2021年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	倫理委員会終了後の2週間で、大阪市立大学医学部附属病院の消化器内科及び外科で、消化器癌疾患の治療のため化学療法センターにて抗がん剤を施行されている方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	化学療法センターでアンケート配布します アンケートで得られた結果を本研究に使用させていただきます。
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科及び消化器外科、呼吸器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科、消化器外科、呼吸器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 平良高一
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 (担当者氏名) 平良 高一 電話番号：(06) 6645-3811 メールアドレス： Shoukakinaiika@med.osaka-cu.ac.jp